社会福祉法人　ききょう会

令和４年度　事 業 報 告

はじめに

令和４年度もコロナ禍中での運営となり、様々な制限の中で、通常の運営形態からはかけ離れた状況となった。陽気園においても、コロナ感染防止を第一義的な課題として、様々な対策を講じてきたが、年末の 12 月中旬にクラスターが発生、利用者全員感染する事態となった。

法人としては、７月にききょう神殿ビルにおいて新たに相談支援事業所を開設、事業を開始するとともに、共同生活援助事業所の次年度の開設を目指して、準備を始める等、新たな展開を進める１年となった。

Ⅰ．法人の状況

１．理事会の開催

開　催　日 決議があったとみなされた日		内　　　　容
Ｒ４．４．４	令和３年度 第５回 （決議の省略）	議案 １．陽気園の債務にかかる借入先整理のための新規借入れの撤回について ２．令和３年度第一次補正予算の修正について ３．後任評議員候補者の推薦並びに評議員選任・解任委員会の招集について ４．後任理事候補者の提案について ５．令和３年度第４回評議員会（決議の省略）への提案について
Ｒ４．６．４	令和４年度 第１回	議案 １．令和３年度事業報告書（案）について ２．令和３年度収支決算報告（案）について ３．基本財産の一部処分について ４．定款の変更について ５．給与規程の一部変更について ６．陽気園施設長の選任について ７．後任理事候補者の推薦について ８．陽気園給食業務の業者委託について ９．社会福祉充実計画について、評議員会に提案を行う件について 10．令和４年度　第１回定時評議員会の招集について

開　催　日		内　　　　　容
		11．ききょう神殿ビル１階の賃貸借契約の承認（追認）について 報告事項 監事監査報告について
R４.12.11	令和４年度 第２回	議案 １．新規事業（共同生活援助事業）の開始の検討について ２．基本財産の一部処分について ３．常用職員就業規則及び有期契約職員就業規則の変更について ４．育児・介護休業規程の変更について ５．有期契約職員給与規程の変更について ６．評議員選任・解任委員の選任について ７．令和４年度第２回評議委員会の招集について ８．ききょう神殿ビルにおける収益事業の廃止について（追加案件） 報告事項 １．令和４年度奈良市指導監査及び実地指導（10/20実施）について ２．業務執行状況報告について
R５．３．４	令和４年度 第３回	議案 １．共同生活援助事業所の整備について ①工事業者の選定方法について（追認） ②入札結果に基づく業者の決定と請負契約の締結について ③共同生活援助事業所整備改修工事に係る資金計画について ④基本財産の担保提供に係る承認申請について ２．令和４年度第一次補正予算について ３．令和５年度事業計画（案）について ４．令和５年度収支予算（案）について ５．定款の一部変更について ６．給与規程（常用職員・有期雇用職員）の一部変更について ７．後任評議員の推薦並びに評議員選任・解任委員会（決議の省略）への提案について

開　催　日		内　　　　　容
		８．令和４年度第３回評議員会の招集について 報告事項 　令和４年度奈良市指導監査及び実地指導の結果について

２．評議員会の開催

開　催　日 決議があったとみなされた日		内　　　　　容
R４．４.19	令和３年度 第４回 （決議の省略）	議案 １．令和３年度第一次補正予算について ２．定款の変更について (1) 第　1条　事業の追加について (2) 第　5条　評議員の定数変更について (3) 第 11 条　評議員会の権限の一部変更について (4) 第 30 条　基本財産の追加について (5) 第　7章　収益事業の追加について ３．相談支援事業所の開設について ４．役員報酬等に関する規程の一部変更について ５．令和４年度事業計画（案）について ６．令和４年度収支予算（案）について ７．後任理事の承認について
R４．６.19	令和４年度 第１回	議案 １．令和３年度事業報告について ２．令和３年度収支決算報告について ３．基本財産の一部処分について ４．定款の変更について ５．後任理事の選任について ６．陽気園給食業務の業者委託について ７．社会福祉充実計画について 報告事項 　監事監査報告について

開　催　日		内　　　　　容
Ｒ４．12．18	令和４年度 第２回	議案 １．ききょう神殿ビルにおける収益事業の廃止について ２．新規事業（共同生活援助）開始の検討について ３．基本財産の一部処分について 報告事項 ①令和４年度奈良市指導監査及び実地指導について ②業務執行状況報告について ③評議員選任・解任委員の選任について ④その他　第２回理事会について
Ｒ４．３．12	令和４年度 第３回	議案 １．共同生活援助事業所の整備改修工事について 　　基本財産の担保提供に係る承認申請について ２．定款の一部変更について 報告事項 令和４年度第３回定時理事会の決議事項等について ①共同生活援助事業所の整備改修工事について ②令和４年度第一次補正予算について ③令和５年度事業計画について ④令和５年度収支予算について ⑤職員の給与規程の一部変更について ⑥令和４年度奈良市指導監査及び実地指導の結果について

３．評議員選任・解任委員会の開催

開催日　令和４年４月９日　　　　　　　　評議員（欠員１名）の選任
　　　　令和５年３月７日（決議の省略）　評議員（欠員１名）の選任

４．　奈良市による指導監査及び実地指導

10 月 20 日に指導監査・実地指導を受け、理事・監事等役員、評議員相互の特殊の関係にある者がいないことの確認の不備等について指摘があった。

この他、口頭指導を受けた内容を含め、改善を図った。

５．新たな事業所の開設

相談支援事業所「ＹｏＬｏ」　特定相談支援事業、障害児相談支援事業
開設日　令和４年７月１日　（奈良市神殿町 630-6　ききょう神殿ビル３階）

Ⅱ．障害者支援施設陽気園　施設入所支援・生活介護事業の状況

１．利用者の状況

定員　施設入所支援事業　　　　　（３５名）
　　　生活介護事業　　　　　（陽気園３０名）
　　　　〃　従たる事業所（とらい　６名）

令和４年度の入所利用者は年度当初　男性２３名、女性６名の計２９名からスタートし、令和５年３月末現在の利用者数は、男性２２名、女性８名の計３０名となった。

年度中の入所者は男性１名、女性２名、退所者は男性２名（１名は家庭復帰、他１名は高齢者施設入所）であった。

利用者の平均年齢は、４年３月末では男性 31.0 歳、女性 31.2 歳、全体で 31.0 歳であったが、５年３月末では男性 31.1 歳、女性 28.9 歳、全体で 30.5 歳となっている。なお、最若年者は１８歳、最高齢者は５８歳となっている。

利用者はほとんどが知的障害者であるが、精神障害を主な障害とする利用者は１名、重複する障害のある人は５名で、支援区分は平均５．４７と前年度（５．４５）に比し、僅かに重くなっている。

生活介護事業については、入所中の利用者に加え、従たる事業所（とらい）への通所者５名、短期入所者の利用が実人数３名で、延べ利用日数は 7,844 日であった。

実施機関別では、地元奈良市の利用者が８名、奈良市を除く県下から５名、その他近畿府県から１７名と他府県からの利用者が半数以上占めている状況に変わりはない。

帰省・外泊、外出については、３年度に引き続き、４年度においてもコロナ禍の影響で実施を制限した期間が通算８ヶ月半に及び、帰省・外泊の延件数はコロナ禍前の４分の１の７７件にとどまった。

表１　　年齢層別・区分別利用者数

	男 性			女 性			計
	区分 4	区分 5	区分 6	区分 4	区分 5	区分 6	
18～19 歳						1	1
20～24 歳		1	7		2		10
25～29 歳		2	3		2	1	8
30～34 歳		1	2				3
35～39 歳		1		1			2
40～44 歳		1	1				2
45～49 歳		1					1
50 歳 ～		2			1		3
合　計		9	13	1	5	2	30

表２　帰省・外泊状況

（単位：人）

無　し	１７
年１回	3
年２回	1
年３～４回	1
二月に１回	3
月１回	4
月２回	1
月３回	
毎　週	
計	３０

表３　　実施機関別・区分別利用者数(R5.3.31 現在)

	援護の実施機関	男	女	計	区分 4	区分 5	区分 6
1	奈良市	5	3	8	1	3	4
2	生駒市	0	1	1		1	
3	香芝市	1	0	1			1
4	桜井市	1	0	1		1	
5	大和郡山市	1	1	2		2	
6	大阪市	2	0	2		1	1
7	茨木市	3	1	4		3	1
8	豊中市	1	0	1		1	
9	京都市	3	0	3		1	2
10	京田辺市	1	0	1			1
11	大津市	0	2	2			2
12	東近江市	1	0	1			1
13	彦根市	1	0	1			1
14	守山市	1	0	1		1	
15	橋本市	1	0	1			1
	合　　計	22	8	30	1	14	15

２．日　課

下記の日課を基本として実施した。

7:00		8:00	8:30	10:00		11:30	12:00	
起床	洗面	朝食 歯みがき		日中活動 作業 運動			昼食 歯みがき	休憩

13:30		14:45	15:00	16:00	18:00	19:00	22:00
作業活動	(散歩)	作業活動終了	入浴	整理・片付け	夕食 歯みがき	余暇時間	就寝

毎週土・日曜日は作業は行わず。　入浴は毎日実施。

３．作業活動

前年度に引き続き、ダイソー取扱い商品や呉竹製品の袋詰め、箱詰め等の内職を受注し、日々の日中の活動として取り組んだ。

なお、神殿ビルの従たる事業所とらいについては、通所利用者３名に加えて、陽気園利用者より常時固定した２名が通所の形で利用し、職住を分離した活動を行った。

また、固定の班活動とは別に県社会就労事業振興センターを通じ、草刈り作業を受注、利用者は刈った草の移動、積み込みなど危険を伴わない作業を分担した。

① 軽作業班（内職作業）

受注した作業を行った。ダイソー商品は陽気園、呉竹商品はとらいにおいて作業を行ったが、利用者によって取り組み方、力に差も有り、その人が取組み可能な作業を可能な範囲で用意した。

また、４年度途中より、革製品（キーホルダー、コースター、コードクリップ等）作成にも取り組み、材料の穴あけ等、工程の一部分を利用者が担い、一部製品については、障害者関係イベント等で販売を行った。

② リサイクル班

利用者家族・地域マンションや商業施設の協力を得て、アルミ缶の回収。作業内容に関しては変更なく、回収したアルミ缶を水洗いし、トレイに並べて水切りし、潰すという流れで、潰したアルミ缶は業者に販売した。

③ 紙漉き班

牛乳の空きパックを再利用し、ハガキ作りを行った。

④ 生活班

施設近くの神社への散歩や施設内の清掃、草抜き等の活動をしている。

４年度における作業に伴う収入については、内職関係でダイソー商品関係が 106,687 円、呉竹製品関係が 83,409 円の計 190,096 円（前年度 93,820 円）、アルミ缶関係で 83,650 円（前年度 70,300 円）、新たに加わった革製品関係で 43,200 円、草刈り作業が２件で 190,000 円の総計 506,946 円（前年度 164,120 円）と前年度を大きく上回った。

また、利用者への工賃支給の支払い実績は総計 421,980 円（前年度 161,180 円）となり、利用者一人当たり、約 12,000 円／年であった。

４．行事・余暇活動

元年度末から続いている新型コロナウイルス感染症感染防止のため、４年度も園外への外出行事は中止とした。１０月には、感染対策を講じたうえで、園内にて秋祭りを実施した。今回も少人数で実施するため、前年度同様家族等の招待は取り止め、陽気園利用者のみの参加とした。

１２月に企画していたクリスマス会については、コロナ感染によるクラスター発生により中止、後日プレゼントを手渡すのみとなった。

４年度も施設外に出ることは、近辺の散歩程度にとどまり、活動頻度、内容共大幅に縮小した１年となった。

月	日	内　　　容	場　　　所	
4	4	入所式	陽気園内	28 名
	21	誕生会	〃	28 名
5	10	バーベキュー大会	〃	29 名
	16,17	定期健康診断	こんどうクリニック	28 名
	18	誕生会	陽気園内	29 名
6	16	誕生会	〃	28 名
7	7	七夕まつり	〃	29 名
	27	誕生会	〃	29 名
8	4	消防避難訓練	〃	30 名
	8	バーベキュー大会	〃	30 名
	29	誕生会	〃	30 名
9	29	誕生会	〃	30 名
10	3	秋祭り	〃	30 名
	24	誕生会	〃	30 名
11	14,15	定期健康診断	こんどうクリニック	30 名
	22	消防避難訓練	陽気園内	30 名
	29	誕生会	〃	28 名
12	5	誕生会	〃	30 名
1	26	二十歳のお祝い	〃	29 名
	28	誕生会	とらい内	1 名
2	3	節分	陽気園内	29 名
	6	誕生会	〃	29 名
3	22	誕生会	〃	29 名

５．健康管理

定期健康診断を年２回（５月、11 月）、季節性インフルエンザの予防接種を 11 月に実施。また、コロナワクチン接種（４回目）を 10 月に実施した。(接種率約 76.7%)

日常的には利用者の日々の検温、週１回の体重、血圧測定を看護師、支援員で行い、必要に応じて地域の医療機関と連携を取りながら、健康管理に努めた。

例年、ＯＰＣ奈良により実施している利用者の歯科健診及び歯磨き指導、また支援職員に対する利用者への指導方法についての技術指導については、継続してその内容を日々の歯磨き支援に役立ててきたが、４年度においては、６月及び２月に実施した。

４年度においても、新型コロナウィルスへの対策として、職員のマスク着用、日々の検温、施設内の必要箇所の消毒、利用者職員とも出入りの際の手指消毒の他、地域の感染状況や対応状況に応じた外出・面会等の制限・自粛を行ったが、12 月中旬にクラスターが発生、入所利用者 29 名全員が感染（内１名が入院）した。(12/18 発生、12/31 終息)

なお、インフルエンザ罹患者の発生はなかった。

表４　　　　　　　　通　院　状　況（令和４年度）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
精神科	25	17	18	18	17	25	12	8	18	12	16	23	209
内　科				1				1		1	3		6
循環器内科	1		1			1	1		1				5
呼吸器内科											1	2	3
皮膚科	7			1									8
歯　科	6	5	11	9	2	5	7	7	2	4	5	2	65
小児神経科		1			1			1			1		4
総合診療科		1											1
外　科								1					1
整形外科			1						3			1	5
眼　科		1	1										2
婦人科								1					1
救急外来		1							2				3
計	39	26	32	29	20	31	20	19	26	17	26	28	313
入　院	1								1		1		3
嘱託医(定期診察)	27	28	29	29	29	29	30	30	－	30	29	27	259

※精神科の定期受診については、次期・状況に応じ、看護師が家族というかたちで代理診察を受けた件数を含む。

※嘱託医診察については、時期・状況に応じ、電話等で利用者個々の状況を伝えるかたちでのリモート診察を含む。５、11 月は、定期健康診断。12 月については、施設内でｺﾛﾅｸﾗｽﾀｰ発生のため、未実施。

６．栄養管理

９月より給食業務を外部業者に委託したが、献立については、これまでどおり、栄養士により栄養摂取基準に基づいた作成を行うとともに、利用者個々の栄養状況に応じて提供量を調整するなどより細やかな対応を行った。さらに豊かなメニューの提供を目指して、行事食の充実・提供の工夫、給食会議の充実、また衛生管理マニュアルに基づいた厨房の衛生管理など食事提供の更なる充実に向けて取り組んだ。

表５
（令和４年度）

栄　養　年　報

2022年4月1日 ～ 2023年3月31日　（ 社会福祉法人ききょう会　陽気園，常食 ）

食品群名		総給与量	平均給与量	食品構成	栄養価算定 エﾈﾙｷﾞｰ	蛋白質	脂質	ｶﾙｼｳﾑ	ﾚﾁﾉｰﾙ	ﾋﾞﾀﾐﾝB1	ﾋﾞﾀﾐﾝB2	ﾋﾞﾀﾐﾝC	ﾋﾞﾀﾐﾝD	鉄	リン
		g	g	g	kcal	g	g	mg	μg	mg	mg	mg	μg	mg	mg
穀類	米	68324.0	187.2	195.3	684	11.3	1.7	9	0	0.15	0.04	0	0.0	1.5	175
	パン類	30221.0	82.8	83.3	272	6.3	10.7	29	12	0.11	0.08	1	0.1	1.2	60
	めん類	6637.0	18.2	20.9	42	1.3	0.2	3	0	0.02	0.00	0	0.0	0.1	12
	その他の穀類	15869.4	43.5	46.9	204	3.1	4.4	50	0	0.02	0.00	0	0.5	0.2	33
いも類	芋類	11530.0	31.6	36.0	29	0.5	0.1	4	0	0.03	0.01	9	0.0	0.1	15
	いも加工品	7583.4	20.8	19.4	28	0.3	0.5	5	0	0.01	0.00	2	0.0	0.1	7
砂糖類	砂糖類	1672.1	4.6	4.5	18	0.0	0.0	0	0	0.00	0.00	0	0.0	0.0	0
油脂類	動物性	412.0	1.1	1.2	8	0.0	0.9	0	6	0.00	0.00	0	0.0	0.0	0
	植物性	2472.8	6.8	7.0	62	0.0	6.8	0	0	0.00	0.00	0	0.0	0.0	0
種実類	種実類	377.8	1.0	1.2	6	0.2	0.5	12	0	0.00	0.00	0	0.0	0.1	6
豆類	味噌	2924.9	8.0	8.2	15	1.0	0.5	8	0	0.00	0.01	0	0.0	0.3	14
	大豆製品	12958.5	35.5	37.8	39	2.9	2.6	43	0	0.03	0.01	0	0.0	0.6	39
	大豆、その他の豆類	2548.0	7.0	8.6	12	0.8	0.4	5	0	0.01	0.01	0	0.0	0.1	12
魚介類	魚介類（生）	20975.0	57.5	56.4	92	10.9	4.9	15	10	0.05	0.13	0	5.5	0.4	122
	干物、塩蔵、缶詰	2529.8	6.9	7.2	15	3.0	0.9	9	1	0.00	0.00	0	0.4	0.1	17
	練製品	3065.8	8.4	8.7	9	1.0	0.2	4	0	0.00	0.01	0	0.1	0.1	8
獣鳥鯨肉類	獣鳥鯨肉類（生）	31631.0	86.7	86.7	177	16.4	11.4	5	14	0.26	0.18	2	0.1	0.8	143
	肉加工品	8738.0	23.9	22.8	76	3.9	6.5	2	1	0.11	0.03	5	0.1	0.1	50
卵類	卵類	10720.3	29.4	28.6	44	3.5	3.0	14	58	0.02	0.11	0	1.3	0.4	48
乳類	牛乳	4583.0	12.6	13.4	8	0.4	0.5	14	5	0.01	0.02	0	0.0	0.0	12
	乳製品	29757.5	81.5	76.2	58	3.7	0.5	104	3	0.02	0.13	0	0.0	0.1	87
野菜類	緑黄色野菜	52792.1	144.6	143.2	43	2.4	0.2	85	0	0.10	0.13	45	0.0	1.2	55
	その他の野菜類	80365.6	220.2	221.7	69	3.5	0.7	61	0	0.12	0.10	34	0.3	0.9	90
	野菜漬物	872.5	2.4	2.8	1	0.1	0.0	1	0	0.00	0.00	1	0.0	0.0	1
果物類	果実類（生）	6627.4	18.2	14.6	11	0.2	0.0	2	0	0.01	0.00	4	0.0	0.1	4
	果実加工品	8730.0	23.9	21.1	15	0.1	0.0	2	0	0.01	0.00	5	0.0	0.0	3
藻類	藻類	1029.2	2.8	2.6	1	0.2	0.0	8	0	0.00	0.00	0	0.0	0.1	3
調味料類	塩	255.8	0.7	0.7	0	0.0	0.0	0	0	0.00	0.00	0	0.0	0.0	0
	醤油	3599.7	9.9	9.7	8	0.8	0.0	3	0	0.00	0.01	0	0.0	0.1	15
	その他の調味料	110891.1	303.8	300.3	76	1.2	4.1	7	1	0.00	0.01	1	0.0	0.1	15
強化剤		161.0	0.4	0.5	2	0.1	0.1	1	0	0.00	0.00	0	0.0	0.0	2
その他	その他	82960.5	227.3	221.1	84	1.9	2.4	6	4	0.03	0.02	0	0.0	0.2	20
合計					2208	81.0	64.7	511	115	1.12	1.04	109	8.4	9.0	1068
基準値					2084	72.9	60.5	755	600	1.14	1.31	100	8.5	7.3	959
充足率					105.95	111.11	106.94	67.68	19.17	98.25	79.39	109.00	98.82	123.29	111.37

穀類エネルギー	脂質エネルギー	蛋白質エネルギー	動物性蛋白質	動物性脂質
1202 kcal	582 kcal	324 kcal	46.8 g	29.7 g

給食実施状況

朝食	昼食	夕食	１０時	３時	夜食	合計
11114 人	10741 人	11122 人	0 人	0 人	0 人	32977 人

穀類エネルギー比	脂質エネルギー比	炭水化物エネルギー比	動物性蛋白質比	動物性脂質比	P／S比	S：M：P
$\frac{1202}{2208}\times100=$ 54.4%	$\frac{64.7\times9}{2208}\times100=$ 26.4%	$100-26.4-(\frac{81.0\times4}{2208}\times100)=58.9\%$	$\frac{46.8}{81.0}\times100=$ 57.8%	$\frac{29.7}{64.7}\times100=$ 45.9%	$\frac{13.29}{14.21}=$ 0.94	14.21 ： 22.35 ： 13.29＝ 3 ： 4.7 ： 2.8

７．安全管理

８月及び 11 月に火災を想定した避難訓練を実施し、併せて 11 月においては水消火器を使用しての消火訓練を例年同様、陽気園、なかま合同で行った。

神殿ビルで運営する「なかま」及び従たる事業所「とらい」については、５月及び 11 月に合同で避難訓練を実施した。

８．ボランティアの受け入れ

近隣理髪店及び訪問型理容業者の協力を得て、４年度も訪問理容を実施し、１年を通じて、延べ１５５名が利用した。

９．苦情対応状況及びヒヤリハット・事故の発生状況

（１）苦情対応

苦情対応規程に基づき対応した苦情はなかった。

（２）ヒヤリハット・事故の発生状況

利用者が他利用者に対して、噛みつくという行為が５件あった。いずれも加害、被害利用者が同一であり、原因も推定できるが、同じ空間で過ごしている中で注意を払っているものの防ぎきれていない状況がある。

異食事故は４件あり、いずれも大事には至らなかったが、リスクを踏まえ、物品等の管理を徹底することが求められた。

投薬もれについては３件あった。事後の確認により誤りを防ぐことは十分可能であるため、確認の徹底が求められた。

器物破損は６件だったが、利用者固有のこだわりや不穏状態となった際の行動であるため、ストレスをためない支援方法、環境づくりが必要である。

同一利用者による散歩中の離脱が２件あった。走り出して支援者を振り切り、決まったお店で飲み物を飲む（無銭飲食）ことがパターンとなっているため、直截的な離脱行動の防止策とともに原因となる固執の解消が課題となる。

利用者の他利用者への加害・利用者の負傷事故	
7,8,12,1,3 月	噛みつき等５件（利用者）
11,12 月	転倒による擦過傷、背骨圧迫骨折各１件
投薬に関わる事故（投薬もれ）	
９，２，３月	３件
異食に関わる事故	
９，２，３月	歯磨き粉、バケツの水　４件
利用者による器物破損	
６，７，９，10 月	扉、壁、窓、湯呑　６件
離脱（散歩中の離脱）	
11，２月	同一利用者による　２件

10. その他

元年度に発足した利用者家族会は、コロナ対策上の制限から活動できないまま３年以上が経過、感染症の５類となる５年度からの活動開始となった。

Ⅲ. 陽気園　短期入所事業の状況

空床利用型で短期入所事業を実施した。

レスパイトを目的とするもの、施設入所を検討するための事前体験など目的、理由は様々であるが、コロナ対策上の制限を行ったことにより、主に施設入所の事前利用で実人数３名、その他目的で実人数１名、延べ２１８日の利用にとどまった。

表６　　短期入所事業　月別利用件数

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
奈良市	区分４													－
	（延日数）													－
	区分５													－
	（延日数）													－
	区分６													－
	（延日数）													－
	その他													－
	（延日数）													－
奈良県下（除奈良市）	区分４													－
	（延人数）													－
	区分５							1	2			1	1	5
	（延日数）							1	10			21	8	40
	区分６													－
	（延日数）													－
	その他													－
	（延日数）													－
他府県	区分４													－
	（延日数）													－
	区分５				1			1	3	1				6
	（延日数）				3			5	16	25				49
	区分６													－
	（延日数）													－
	その他	2	1	1	1	1								6
	（延日数）	6	31	30	31	31								129
合　計		2	1	1	2	1	－	2	5	1	－	1	1	17
	（延日数）	6	31	30	34	31	－	6	26	25	－	21	8	218

Ⅳ．児童発達支援・放課後等デイサービス「なかま」・短期入所事業「きぼう」の状況

令和４年度においても新型コロナウイルスの影響により、マスクの着用・検温の実施・アルコール消毒の実施など引き続き基本的な感染症対策を実施した。令和５年３月１３日以降、全国的にマスクの着用が個人の判断に委ねられることとなったが、厚生労働省からの事務連絡において高齢者施設等と同様に、障害福祉サービス事業所においてもマスクの着用を推奨することとされていることから、職員においては今後も勤務中のマスクの着用を行っていくこと、利用者及び保護者に対しては個人の主体的な選択を尊重しながらも、基本的な感染症対策への協力のお願いを行っていくこととした。

事業所外での活動としては、その時々の感染者数と推移などを事業所単位で検討し判断しながら、夏休み期間中には奈良県川上村にある蜻蛉の滝、10月にはボウリング、11月には奈良市役所の屋上に設置されていたコロガル公園テラスへのお出かけなどを積極的に行った。

また、夏休み期間中に事業所が入る神殿ビルの屋上にてプールを設置し、週１回の水遊びのプログラムを新たな試みとして実施した。どのイベント・プログラムも大変な好評をいただき、利用者、保護者の方々からは喜びと感謝の声を多くいただいた。

１．事業の利用状況

利用者数及び利用延べ人数について

(1)児童発達支援（なかま）

	利用人数	利　用 延べ人数	前年度 増　減
４月	2	１７	＋９
５月	2	１９	＋１３
６月	2	２２	＋１３
７月	3	２４	＋１５
８月	3	２０	＋１３
９月	3	２７	＋１６
10月	4	２６	＋１６
11月	4	３０	＋２３
12月	4	２７	＋２１
１月	4	２４	＋１８
２月	4	２６	＋８
３月	4	２６	＋６
計	３９	２８８	＋１７１

(2)放課後等デイサービス（なかま・みらい）

	利用人数	利　用 延べ人数	なかま	みらい	前年度 増　減
４月	５６	２８０	１８７	９３	－２９
５月	５６	３２５	２０６	１１９	＋２１
６月	５４	３１２	１９５	１１７	＋１３
７月	６０	３８５	２３３	１５２	＋８
８月	５６	３５１	２０１	１５０	－９３
９月	５５	３１２	１９０	１２２	＋１５
10月	５４	３３１	１８８	１４３	＋３７
11月	５７	３３４	２０３	１３１	＋３９
12月	６２	３７８	２４１	１３７	＋２０
１月	６０	３４１	２０７	１３４	＋２７
２月	５９	３２６	２１４	１１２	＋７５
３月	５９	３２６	２２０	１０６	＋４
計	６８８	４,００１	２,４８５	１,５１６	＋１３７

(3) 短期入所（きぼう）

	利用者数	総利用日数	前年度増減
4月	１０	３２	＋９
5月	９	３１	＋３
6月	９	３１	－１
7月	２０	５８	＋２９
8月	８	３４	－５
9月	９	３７	－１
10月	１０	３７	＋５
11月	９	３４	＋１３
12月	１５	４６	－３
1月	６	３３	＋４
2月	１１	４０	＋１４
3月	１１	４０	－１４
計	１２７	４５３	＋５３

年代別利用者数（令和５年５月現在）

	男性	女性
未就学児	３	０
小学校・低学年	１１	１０
小学校・高学年	６	５
中学部	１１	８
高等部	１３	５
計	４４	２８

２．事業所での取り組み

(1) 保護者面談

例年同様、１月に各ご家庭に対して保護者さんと児童発達支援管理責任者との面談を行いたい旨の案内を配布し、２月からの約１ヶ月間をかけて利用開始時の相談受付表の確認やモニタリング、事業所への相談、事業所に求める意見など様々な聞き取りを行い、その面談内容を元に個別支援計画の作成・それぞれの個別課題の設定などに反映した。

(2) モニタリング・個別支援計画作成

児童発達支援管理責任者が作成するモニタリング及び個別支援計画について、８月と２月にモニタリング、１０月と４月に個別支援計画をそれぞれ作成した。

(3) 消防訓練

① なかま・とらい合同通報・避難訓練

・５月 31 日　利用者・職員　計 15 名参加

・11 月 29 日　〃　計 14 名参加

② なかま・陽気園合同消火訓練

・11 月 22 日　なかまより職員７名が参加

(4) インフルエンザワクチン予防接種

・11 月 28 日　全職員に対して実施

Ⅴ．相談支援事業所「ＹｏＬｏ」の状況

令和４年７月１日、ＹｏＬｏ（You Only Live Once）開設。（特定相談支援・障害児相談支援）

たった一度のかけがえのない人生、自分らしく生きたい、「こうありたい、こんなことがしたい」どうぞ私たちに打ち明けてください。それをかなえる場所を、方法を一緒に考えてみませんか?をモットーにして取り組みを進めてきた。

相談件数（R4.7.1～R5.3.31）

知的障害児・者　　14 名。　(家庭引きこもりの不登校　　難聴児童　含む)

精神障害者・児　　12 名。　(DV　性同一性障害を含む)

身体障害者　　　　 2 名。　(難病)

現時点では、定期的に電話確認、訪問等もし、その結果抱えている課題を少しづつ改善しながら相談者自身がやりたいことを実現できよう障害に応じて一歩一歩進んでいる状況である。

計画を立てること、確認することも大事であるが、そこに、人としての関係性が結ばれているかが重要なことだと思われる。

本人の希望に添った支援に必要なものを探し当て提供しているが、まだ十分とは言えず、相談者の必要な時に必要な支援ができる態勢づくりが必要である。

Ⅵ.　研　修

(1) 施設内研修

コロナ禍により、講師を招いての研修は実施できず、虐待防止、感染防止、リスクマネジメント等の研修を行うにとどまった。

(2) 外部研修

資格取得に向けて県が主催する公的研修会を（WEB 研修を含む）を適宜受講した。

(1) 施設内研修

月	日	研　修　内　容	講　師	参加者
7	4	虐待防止、身体拘束の防止について	職員	５名（陽）
7	22	ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修 新型コロナウイルス感染防止対策について③	職員	名（陽）
11	22	虐待防止、身体拘束の防止について	職員	15 名（陽 8,な 7）

(2) 施設外研修

月	研　修　内　容	講　師	場所/参加者
7，8	奈良県強度行動障害支援者養成研修		2名（陽１，な１）
8	甲種防火管理者新規講習		1名（陽）
8～9 9～11	奈良県相談支援従事者初任者研修 A（Web 研修） 〃　（集合研修）		1名（Y）
8～9	奈良県相談支援従事者初任者研修 B（Web 研修）		1名（陽）
10	奈良児童虐待防止ネットワーク事例研究会	土井高徳氏	4名（陽）

Ⅶ. 職員体制

１．職員数（令和５年３月３１日現在）

(1) 陽気園

職　名	施設長	サービス管理責任者	生　活支援員	看護師	栄養士	調理員	事務員	その他	合　計
常　勤	1	1	14	1	1		2		20
非常勤	兼ｻﾋﾞ管	兼支援	9	1			1		11

(2) なかま・きぼう

職　名	管理者	児童発達支援管理責任者	児童指導員及び指導員	保育士	事務員	合　計
常　勤	1（兼務）	2（兼務）	7			10
非常勤			2		1	3

(3) ＹｏＬｏ

職　名	管理者	相　談支援員
常　勤	1（兼務）	1（兼務）
非常勤		1

２．　会議及び各委員会の運営

会　議

(1) 陽気園

会　議　名	開催頻度	備　　　　考
職員会議	随　時	全職種が参加し、開催。
支援会議	随　時	サービス管理責任者、支援員により利用者への支援を検討。
リーダー会議	随　時	各階リーダー職員により開催。
給食会議	1回/2ヶ月	栄養士、調理員、支援員により開催。
ﾌﾛｱﾐｰﾃｨﾝｸﾞ	随　時	各フロアの利用者の状況などについて、情報共有を図り、支援方法を検討。

(2) なかま・きぼう

会　議　名	開催頻度	備　　　　考
全体ミーティング	月１回	全職種が参加し、開催。
管理者会議	随　時	管理者、児童発達支援管理責任者等により運営内容を検討、協議。
担当者会議	受給者証の更新月に合わせて随時	児童発達支援管理責任者が保護者・相談支援員・他事業所などを交えて支援内容や方向性などを確認。
朝礼 引継ぎﾐｰﾃｨﾝｸﾞ	毎　朝	利用者の状況などについて、情報共有を図る。

各委員会

委員会名	開催頻度	備　　　　　考
虐待防止委員会	随　時	虐待についての内部研修を実施（２回）
リスクマネジメント委員会	随　時	新型コロナ感染時対策を中心に確認した（１回）
防災委員会	随　時	消防避難訓練実施に伴い、後日、反省点等について職員間で確認機会を持った（２回）
身体拘束防止委員会	随　時	身体拘束廃止の指針に沿って、職員間で共通認識できるよう内部研修を実施した（２回兼虐待防止）

Ⅷ. 人事異動

４年度途中より、人材確保のためインドネシアからの技能実習生５名を雇用、陽気園に３名、、なかまに２名を配置した。

１．障害者支援施設　陽気園

採用			
	職　種	性別	採用日
①	生活支援員	男	R4.4.1
②	生活支援員（非常勤）	男	R4.5.30
③	生活支援員	男	R4.8.1
④	生活支援員（非常勤）	男	R4.8.1
⑤	生活支援員	男	R4.8.16
⑥	〃	男	R4.8.22
⑦	〃	男	R4.8.22
⑧	〃	男	R4.8.22
⑨	生活支援員（非常勤）	女	R4.9.5
⑩	事務員（非常勤）	女	R4.9.5
⑪	生活支援員（非常勤）	女	R5.1.24
⑫	生活支援員（非常勤）	女	R5.3.1

退職			
	職　種	性別	退職日
⑲	岩本　悠佑	男	R4.4.15
⑳	生活支援員	女	R4.5.15
㉑	〃	男	R4.5.31
㉒	生活支援員（非常勤）	男	R4.6.15
㉓	〃	男	R4.7.15
㉔	調理員	女	R4.7.31
㉕	〃	女	R4.7.31
㉖	〃	女	R4.7.31
㉗	〃	女	R4.7.31
㉘	〃	女	R4.8.31
㉙	生活支援員	女	R4.8.31
㉚	生活支援員（非常勤）	女	R4.9.8
㉛	生活支援員	男	R4.10.15
⑤	生活支援員	男	R4.10.21
㉜	生活支援員（非常勤）	女	R5.2.28
⑨	〃	女	R5.3.15

２．児童発達支援・放課後等デイサービス　なかま

採用			
	職　種	性別	採用日
⑬	指導員	男	R4.4.28
⑭	指導員（非常勤）	女	R4.6.1
⑮	指導員	男	R4.8.22
⑯	〃	男	R4.8.22
⑰	児童指導員	男	R4.9.1
⑱	〃	女	R5.1.4

退職			
	職　種	性別	退職日
⑭	指導員（非常勤）	女	R4.6.14
⑬	指導員（非常勤）	男	R4.10.28